

Other Drawing

Check All

Uncheck All

Display checked documents

Display format

Select the Type of Output

1 - 1/1

Next page

From 1

- 1

Count

Back to list

実開平4-110924

(43) 公開日 平成4年(1992)9月25日

(51) Int. Cl.⁴

G 0 1 F 9/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

9107-2F

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21) 出願番号 実願平3-14843

(22) 出願日 平成3年(1991)3月14日

(71) 出願人 00006895

矢崎総業株式会社

東京都港区三田1丁目4番28号

(72) 考案者 納原 隆司

静岡県島田市横井1-7-1 矢崎計器株式会社内

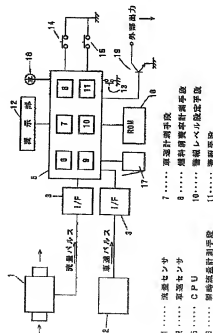
(74) 代理人 弁理士 濳野 秀雄 (外1名)

(54) 【考案の名称】 車両用燃料消費計

(57) 【要約】

【目的】 燃料の瞬時流量、燃料消費率等の表示に警報手段を設けて、設定した瞬時流量及び燃料消費率になると警報する車両用燃料消費計の提供を目的としている。

【構成】 CPU 5 内には瞬時流量計測手段 6、車速計測手段 7、燃料消費率計測手段 8、積算流量計測手段 9、警報レベル設定手段 10 及び警報手段 11 等が内蔵されている。また、CPU 5 には流量センサ 1 及び車速センサ 2 が接続されている。警報レベルを設定するための表示切換スイッチ 14、スイッチ 15 が接続されている。設定された警報レベルを格納するための ROM 16、警報レベルに達した時に警報するための警報手段 11 の外部出力素子としてのブザー 17、LED 18 及びトランジスタ 19 が接続されている。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 流量センサからの信号に基づき燃料の瞬時流量を計測する手段と、車速センサの信号に基づき車速を計測する車速計測手段と、前記計測された瞬時流量及び車速から燃料消費率を計測する手段と、これら計測された瞬時流量、燃料消費率等を表示する表示部とを有し、前記瞬時流量と燃料消費率に対する所定の警報レベルを設定する手段と、該瞬時流量と燃料消費率とがそれぞれ前記警報レベルに達すると警報する手段とを備えたことを特徴とする車両用燃料消費計。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案実施例の車両用燃料消費計のブロック図である。

【図2】 本考案実施例の車両用燃料計の動作を説明する

フローチャートである。

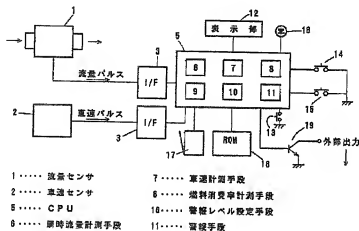
【図3】 (a) は図2で示したフローチャートの中で流量パルス計測のところを詳細に示したフローチャート、(b) は流量パルスのタイムチャートである。

【図4】 従来の燃料消費計を示す図である。

【符号の説明】

- 1 流量センサ
- 2 車速センサ
- 5 CPU
- 6 瞬時流量計測手段
- 7 車速計測手段
- 8 燃料消費率計測手段
- 10 警報レベル設定手段
- 11 警報手段

【図1】



【図4】

